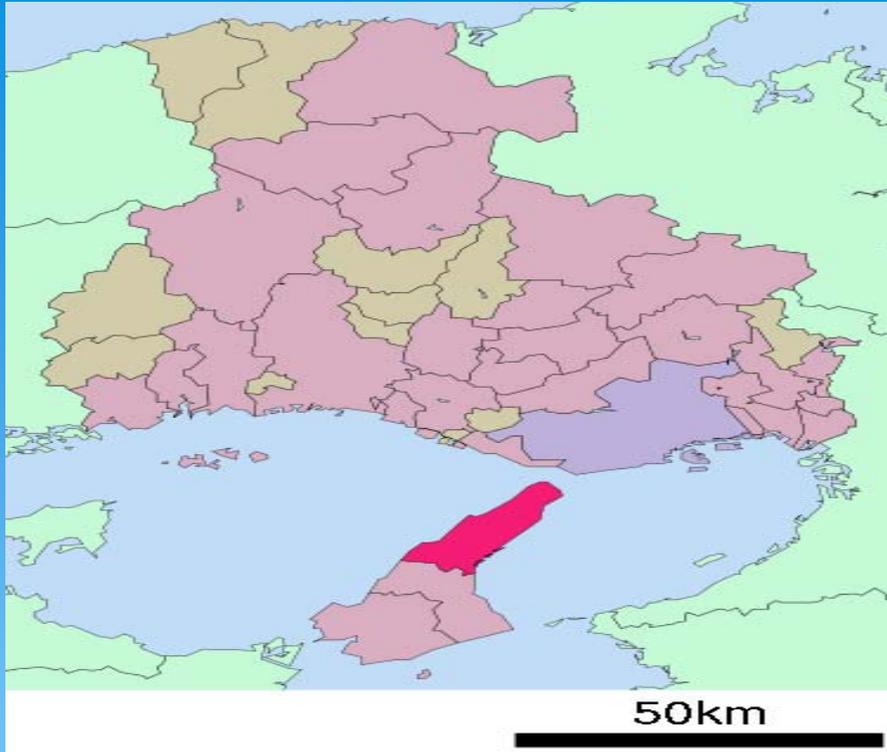


EPA看護候補生受け入れについて



医療法人社団 淡路平成会
東浦平成病院
研修担当者 小林 さおり



明石海峡



<公共交通機関ご利用の場合>

高速舞子から淡路交通バス
 (淡路夢舞台経由臨海公園行)
 久留麻停留所下車 徒歩約3分

<お車をご利用の場合>

神戸淡路鳴門自動車道 東浦ICより約5分



鳴門海峡

医療法人社団 淡路平成会

東浦平成病院概要

- 平成11年7月1日開院
- 兵庫県淡路島にある地域中核病院
- 病床数：200床
 - 回復期リハビリテーション病棟(44床)
 - 障害者一般病棟(48床)
 - 医療療養病棟(108床)
- 職員数：382名(うち看護職員100名)



受け入れ理由

日本に学びにくる人を支援したい

日本に来て色々な事を吸収したいと考えている
外国人の力になりたい

受け入れ理由(東浦平成病院)

<現場職員に対して>

- 個々のモチベーションの向上を狙う
- 環境の変化を与えられる

<病院として>

- 看護師人員不足の解消

受け入れ状況

平成22年度	インドネシア	第3陣	3名
平成23年度	フィリピン	第3陣	4名
平成25年度	フィリピン	第5陣	1名
平成26年度	フィリピン	第6陣	2名

東浦平成病院の実績

- * インドネシア第3陣 看護師1名
- * フィリピン第3陣 看護師1名 准看護師1名
- * フィリピン第5陣 准看護師1名
(現在もEPA候補生)

途中帰国者の理由

- * 母国に子供がおり、世話をしてくれていた家族が病気になり、自分が子育てをしなくてはいけないう状況になったため。
- * 日本の生活習慣や言葉に慣れず、自分に限界を感じたため。
- * 家族が病気になったため。

帰国者状況

平成22年度 インドネシア 第3陣 3名

(1名途中帰国、1名試験不合格にて帰国)

(1名国家試験取得後、帰国)

平成23年度 フィリピン 第3陣 4名

(2名途中帰国)

平成25年度 フィリピン 第5陣 1名

平成26年度 フィリピン 第6陣 2名

フィリピン人の特性

1. 家族を大切に思っている。
2. 人見知りのところがあるが、慣れると社交的で活発である。
3. 明るい。
4. 『大丈夫！』が口癖。
5. 自分の意思をはっきり話せる人が多い。
6. 相手を気にかけてながら、行動できる
7. 面倒見が良い

受け入れ当初と現在の変化

看護候補者の受け入れ

日本語での会話の難しさ



指導側も希望や訴えの
理解に時間を要する

研修プログラムの作成



完成までに時間を要する

- 指導者のスケジュール調整
- 候補者と指導者間での学習内容の統一

生活面のサポート
日本人職員とのコミュニケーション方法の指導



受け入れ当初と現在の変化

看護候補者の受け入れ

日本語での会話の難しさ



事前の日本語研修期間の増加



就労開始後のコミュニケーションも取りやすくなる

研修プログラムの作成

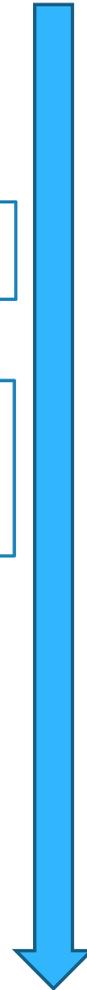


先輩候補者や合格者による後進指導が確立

日本人職員とのコミュニケーション



日本人職員も慣れと親密さが増す



学習支援策の活用について①

- 集合研修⇒(5回/年) 全て参加
- 学習診断・個別指導⇒潮先生のskypeによる個別指導を受講している
- 個別学習指導訪問⇒訪問して頂ける先生との調整が可能な限り受けている
- 模擬試験⇒一斉実施と自施設での実施 3回/年実施

学習支援策の活用について②

- 音声講義
- オンデマンド講義
- eラーニングによる過去問題演習

以上の3つの講義・演習については、受けることを勧めるが強制的にはしていない。

合格者の先輩からのアドバイスで、どのような講義が良かったなどの感想を聞きながら使用している。

国家試験合格に向けての取り組み

- 就労時間内での勉強時間の増加
 - 通常 → 2時間/日
 - 国家試験3か月前 → 4時間/日
 - 国家試験1か月前 → 1日

※受け入れ当初より電子辞書を配布(受け入れ年度で1台)
学習時間に活用してもらおう

国家試験合格に向けての取り組み

- 日本語学習サポートについて

学習時間

- 毎週火曜日 16時～17時

講師

- NPO法人淡路市国際交流協会のボランティア

内容

- 日本の文化を通し言葉を学ぶ
- JICWELSからの教材を使用して学習
- 日本語アシスト、漢字ステップ使用
- 看護師国家試験準備練習問題[1]使用

国家試験合格に向けての取り組み

国家試験学習サポートについて

学習時間 • 15時30分～17時30分

(就労時間終了後も候補者の意思で学習しています)

講師 • 看護師(管理者)・他職種

使用教材 • JICWELSからの看護師国家試験準備練習
 • 問題[2]～[4]
 • 国家試験過去問題集
 • ラスパ・看護学レビューブック・プチナース
 • これだけ覚える看護師国試必修問題
 • オンデマンド・eランニング

職場定着への工夫①

候補者の病棟配属にあたり、定期的な勤務異動を行い、大勢のスタッフとかかわりが持てるようにする。



職場定着への工夫②

病院の行事には参加し、他のコメディカルスタッフとの関わりも大切にしている。





合格者の現状

・インドネシア第3陣

1名合格

合格後1年6ヶ月看護師として勤務
その後、家庭の事情で帰国

・フィリピン第3陣

1名合格

医療療養病棟の看護師として勤務。
今では人工呼吸器の取り扱い、点滴
処置等の一般的な看護技術も身に着
き対応できる。今年3月より夜勤業務
を開始し、現在は先輩看護師と一緒に
練習当直を始めている。



受け入れ準備される施設の方へ

<生活面>

- 受け入れ当初、生活面での援助が重要
- 受け入れ施設により、どこまでの援助をするかは異なるが、最初に候補者へ援助出来る内容を伝えておくことが大切
- インターネット環境の整備が必要

<学習面>

- 現場スタッフへの受け入れに対しての周知徹底
- 業務内容と学習内容等のプログラムの作成は事前に行う

※当院の特色としては、生活面と学習面での各担当者を決めており、候補者が相談しやすい環境を作っている

ご清聴ありがとうございました

